

授業科目名(英文名)	構造解析特論B (Structure Analysis B)				
担当者名	山下 彰彦				
学年	1	学期	後期	必修選択	
教科書					
目的または到達目標	C言語の文法が理解でき、簡単なプログラムができる。 データベースのアルゴリズムの論理が理解でき、簡単なプログラムが記述できるようになる。				
授業内容	<p>情報アルゴリズムの内容である。授業名を構造アルゴリズムに変更する事務処理中。</p> <p>C言語の文法(ポインタ…第4回目と第5回目と第6回目、構造体…第7回目と第8回目第9回目) データベースのアルゴリズム(バブルソートとプログラミング…第1回目と第2回目と第3回目、選択法とプログラミング…第10回目と第11回目と第12回目、シェルソートとプログラミング…第13回目と第14回目と第15回目、期末試験…第16回目)</p>				
関連科目					
受講心得	C言語の文法を授業で取り扱いますが、授業の40%程度で、残り60%はデータベースのアルゴリズムをやります。ですから、文法を授業でやる時間は、せいぜい $6 \times 1.5 = 9$ 時間程度です。データアルゴリズムではC言語記述のプログラムも扱います。そうすると、情報メディア学科のように学部でC言語を学ぶ科目があった方はいいと思うのですが、そうでない方は授業時以外にもC言語の文法書を勉強していく必要があります。				
課題・質問等の受付方法					
授業の形式					
履修上の注意または履修条件					
成績評価の方法					
参考文献及び指定図書					